

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5 年 3 月 13 日

事業所名 神原障害児デイサービスセンター

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の状況等に合わせて適切に使用している。</li> <li>・利用定員とスペースの関係は良い。</li> <li>・壁に向かって療育を行っている為、人数が多く入らないので、座る場所を職員が配慮している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各部屋のスペースによって個別療育、集団療育等に利用しているが、もう少し広い方が良いと思う。</li> </ul>
	2	職員の配置数は適切である	10	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者毎に職員の有資格者配置基準を順守し、行っている。</li> <li>・安全に配慮し行っている。</li> <li>・規定人数より多く配置し、利用者対応している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎中の見守り職員の配置場所の工夫が必要。</li> <li>・職員が不足しているところがないか視野を広くする。</li> <li>・身体利用者や、多動の利用者をみる職員が限られて人数が足りないことがある。</li> </ul>
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・床、トイレ等バリアフリー化している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パイプ椅子を使用しているため、利用者にとって不安定。</li> <li>・手すりの位置がもう少し低い方が使用しやすいと思う。</li> <li>・ほぼ、バリアフリー化されているが、玄関や非常口、他のフロア利用時等で小さな段差はある。</li> <li>・バリアフリーではあるが、ベットのマットなどは無い為、設備としては適切ではない部分がある。</li> </ul>
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月の処遇会議、ミーティング、常勤会議等を必ず開催し、協議、検討を行っている。</li> <li>・処遇会議等で目標を振り返りできている。</li> <li>・各自意識して取り組んでいると思う。職員間では、会議や朝礼等連絡を取り合っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標設定や振り返りはされており、各職員も意識し取り組みしているが、認識や理解の違いがある為、会議等での徹底が必要。</li> </ul>
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年の自己評価を実施することにより保護者や職員からの意向を把握し、改善につなげている。</li> <li>・毎年の評価結果を基に、次年度の業務計画を作成し、業務評価に務めている。</li> <li>・保護者へのアンケートをもとに改善できる部分や、公開希望があった物については参観等も利用し公開する他改善している。</li> <li>・HPで公開し、処遇会議等で話し合っている。</li> </ul>	

	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	11	1	・法人ホームページにて公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	8	・山口県社協等の発行する「第三者委員ハンドブック」を参考	・第三者評価委員会なし。 ・実地指導にて評価を受け、改善につなげている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	12	0	・外部、法人内事業所内で必要となる研修を取り入れ行っている。 ・部門内研修などで取り組んでいる。 ・研修の機会は多くある。 ・外部研修への参加、内部研修、利用者対応研修、専門的研修を定期的に開催している。	・コロナ感染拡大により減少。 ・学んだことを実践していかなければならない。 ・支援内容の統一も含むも不十分な時は、研修を重ねて実施する他、その時々気づいた事等、注意しあっている。 ・研修を行っているが、一部改善できていない。
適切な支援	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	12	0	・個別支援計画を作成、更新するため、定期的に面談を行い、子供や保護者のニーズ等を聞きながら目標を立て、作成している。 ・ケアプラン作成時に保護者にも話を聞いた上で行っている。 ・他の職員からの意見なども取り入れるようにしている ・年2回、保護者に聞き取りを行い計画を作成している。	・標準化されたツールはないが、ケアプランに問題点を記入する欄があり活用している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	11	1	・利用者毎に利用者台帳を作成し、聞き取りを行っている。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	11	1	・活動グループ毎に協議し、リーダーが立案、実施に向けて、職員に周知している。 ・各担当で立案し、行っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	12	0	・活動プログラムを見直し、好評なものは残し、職員間で協議しながらすすめている。 ・処遇会議等で話し合っている。 ・季節ごとの取組み等も取り入れ、1年での変更は感じる。 ・長期休暇時は会議等で話し合っている。 ・毎年、担当者を変更し行っている。	・年間行事を決め行っているが現状、コロナ禍により難しいと感じる
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	11	1	・事前にスケジュールを決め、当日のリーダーを中心に行っている。平日、休日、長期休暇は設定内容は違う。 ・長期休暇時には平日などではできない活動、行事に取り組み、支援している。 ・保護者と話し合い、課題を考えて提供している。 ・年間、月間で計画を立て、支援している。	・個人の状況にもよるがきめ細かにはできていない。

の 提 供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>療育会議を個別療育、集団療育の2つに分け目標を設定、計画書を作成している。</li> <li>個々に合った個別療育と集団療育を計画、作成をしている。</li> <li>デイとして月間目標に取り組み個別目標はケアプラン担当者が考えている</li> <li>利用者の個別状況に合わせて作成している。</li> </ul>	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>平日は朝礼にて、長期休暇時は前日の終礼及び当日の朝礼にて確認を行っている。</li> <li>毎日朝礼にて、職員間で行っている。利用者の体調面、注意すべき事項など支援内容を確認し合っている。</li> <li>指示表で確認している。</li> </ul>	・打ち合わせは行っているが、職員によって支援の統一ができていない。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝礼、長期休暇時の終礼等で支援の振り返りを行い、問題点等を協議、職員間で共有している。</li> <li>気になった点などは、職員間で共有している。</li> </ul>	・長期休暇時は終礼にて行っているが、平日は翌日の朝礼にて情報共有している。緊急性があるものについては、臨時に終礼を開催し、情報共有を行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>日毎に担当職員がケース記録を記入している。</li> </ul>	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>半年ごとや、必要に応じて保護者等に情報を聞きとり、計画書を見直している。</li> <li>半年に1度、保護者と話し計画書を作り、職員に会議で共通理解している。</li> </ul>	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	9	3		・職員間で共有ができていない。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	11	1	・ケアプラン担当が出席している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	11	1	・学校への送迎時、クラス担任等からの情報収集、交換を行っている。 ・送迎時に学校と情報は共有している。 ・受け入れ時にはその日に変わったところがないかなど、様子を細かく聞くようにしている。 ・保護者からの聞き取りで学校の様子を聞いている。 ・保護者を通じてが多いが、学校のHPの確認、問い合わせ等直接学校とも連絡を取り合っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	11	1	・看護師が主となり対応している(保護者からの指示や情報を聞きながら)。 ・保護者を通じて行っている。 ・異常があった場合どこが緊急搬送となるのか必ず聞き取り、何かあった場合はその医療機関に搬送するようにしている。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	8	4	・相談支援員や保護者からの情報による。 ・相談支援員に投げかけ回答を得ている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	10	2	・法人内での障害福祉サービス事業所へ移行する場合は、十分に情報提供している。 また、障害支援相談事業所からの依頼があれば対応している。 ・相談支援員や保護者からの情報による。 ・実習後の反省会を保護者から情報を聞くのみ。	・他事業所へは直接話をすることはない
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	10	2	・宇部市発達障害等相談支援センターからの講師を招いて研修を行っている。 ・外部研修へ参加している。	・研修で講師としてこられることはあったが、最近はできていない。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	11	・地域の公園にて公園遊びをする時に一緒に遊ぶことが有る。	・行っていない。 ・交流の場があるのか把握できてきない。 ・コロナの状況が落ち着けば積極的に取り組んでも良いと思う。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	6	6		・子ども支援ネット会議への参加も、コロナ関係で、参加できていない。 ・参加機会があれば参加していきたいと思う。
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	12	0	・送迎時や電話、保護者参観等を返して共有理解を持てる場を大切にしている。 ・保護者と共通理解できていると思う ・苑での様子を伝えるだけでなく、近況を聞く事で新しい変化や情報収集ができるように意識している。		

	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聞き取りの際などに伝えるように心がける。</li> <li>・保護者から相談があった場合は、職員間、相談支援員と連携して支援している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者とは情報共有し、コミュニケーションを計っているがペアレント・トレーニング支援はない。</li> </ul>
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約時、丁寧に説明を行っている。</li> <li>・契約時に説明し、必要に応じて随時対応している</li> <li>・契約時に表を基に担当者が説明している。</li> </ul>	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者から相談等があれば、職員間で話し合い対応している。</li> <li>・保護者との聞き取りを行う際に一緒に行うようにしている。</li> <li>・必要な助言になっているかがわからないが、保護者の話は聞くようにしている。</li> <li>・必要に応じて相談支援員にも共有し一緒に取り組むようにしている。</li> <li>・送迎時等何か問題への問い合わせ等あれば回答している。</li> </ul>	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	11	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者参観日を設けて、保護者同士の連携を図れるよう対応。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族会はあるが、活動はない</li> <li>・計画はあるが近年、できていない。</li> <li>・家族会はコロナで中止だったが、年間計画に保護者会が入っている。</li> <li>・2回開催を予定しているが、コロナ感染の利用者等が出たりコロナの影響で2回とも中止となった。</li> </ul>
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・苦情における体制有。障害デイ全体の要望、苦情処理委員会に図る。</li> <li>・保護者からあれば職員間で話し合い検討対応している。</li> <li>・苦情を受けたときには即、管理者に報告している。</li> <li>・職員間での内容の共有をすると共に相談を行い、管理者の助言、アドバイスの元、対応するようにしている。</li> </ul>	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報誌「てとて」、家族会「ひだまり」</li> <li>・連絡帳を利用している。</li> <li>・年間行事予定表の配布、広報誌「てとて」の年2回の発行及び創刊号の発行、一斉メールの活用等を行っている。</li> </ul>	
	35	個人情報に十分注意している	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報保護に関する契約書の提出を求め、研修等を啓発している。</li> <li>・職員契約時に書類に署名している。</li> <li>・十分に注意している。</li> <li>・配慮している</li> </ul>	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚的支援を活用。</li> <li>・利用者に合わせて対応している。</li> <li>・配慮している。</li> <li>・日々努力し、保護者に情報をもらっている。</li> </ul>	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	8	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神原苑まつりはコロナの為中止。R3年琴芝コミュニティまつりへ障害デイ関係者出席。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナの影響で他事業所との交流が減少している。</li> <li>・夏祭り等を行っているが現状コロナ禍で難しい。</li> <li>・感染症対策などを万全にし行えるようにする。</li> <li>・コロナ感染予防のため、地域との関わりを持っていない</li> <li>・住民ではなく市役所他、相談支援員を呼んで見学会を行った。</li> </ul>

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種マニュアルを作成し、苑内へ掲示、「てとて」への掲載、研修の開催を行っている。</li> <li>・感染症対応の研修を受けている。</li> <li>・広報誌に記載したり、職員間で研修をしたりしている。</li> </ul>	・職員間ではできていると思うが保護者への周知はもっと必要に感じる
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年2回の避難訓練、防火訓練を実施している。</li> <li>・年に2回程度は、避難ルートの確認も含め実施している。</li> <li>・子供等と一緒に避難所まで訓練実施している。</li> </ul>	・避難する訓練はできているが、もっと利用児が参加した方が良いと思う。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内部研修、外部研修への参加</li> <li>・年に1回虐待防止の研修を受けている</li> </ul>	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R4年放デイの実施指導において、個別支援計画書内に記載するよう指示有り。以後記載している。</li> <li>・必要に応じて保護者への説明、支援計画へ記載し、同意を得た上で、計画書へ署名と押印をもらっている。</li> <li>・ケアプランに身体拘束の件を記載している</li> <li>・車いすについての拘束(ベルト)を支援計画書に盛り込んでいる。</li> </ul>	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	11	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者より指示書をもらい、対応している。</li> <li>・保護者を通じて行っている。</li> <li>・一覧表で一目で分かるようにしている。</li> <li>・保護者にアンケートを実施し職員間で共有している。(飲み薬との関係にも注意している)</li> </ul>	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害事故対策委員会で検討したケースについて、回覧し、共有している。</li> <li>・ヒヤリ発生時に報告書を作成し、職員間で共有している。過去の事例については研修を開催し、振り返りを行っている。</li> <li>・定期的に職員で集まり話し合いを行う。</li> <li>・ヒヤリハット、事故報告は会議で検討している。</li> <li>・その都度、事故対策委員会にあげて職員間で共有し、対応している。</li> </ul>		